

高岡教区教務所 電話 0766-22-0887 FAX0766-21-5152

メール info@takaoka-hongwanji.jp

## ◇高岡会館報恩講勤修

今年も十一月二十六・二十七日の両日、会館報恩講が営まれ、初日の夕方には教化団体合同によるお初夜「親鸞聖人を語る夕べ」が開催され、約九十名が参加された。

この「語る夕べ」は会館が建てられた二年後の一九九四年から催されているもので、その趣旨として「報恩講の意義を考慮した企画を盛り込み、会館や寺院にこられることの少ない方々（特に青壮年層）への参加呼びかけの機縁とする」ことが目指されている。最初に、宗祖讃仰作法による音楽法要が勤められ、西岡教務所長の導師のもと、正信偈が唱えられると、参拝された方々も一緒にお勤めされる姿が多く見られた。

続いて、「今、浄土を願う―曇鸞・道綽・善導三師ゆかりの玄中寺を訪ねて―」という講題で高岡教区教学研究室研究員の津山玄亮さん（糸岡組願称寺住職）の講演が行われた。津山



さんは、今夏、教学研究室の企画で実施された中国旅行の様子などを写真で説明されるなかで、中国における仏教の伝来とその進展や、玄中寺の成立やそのおかれた状況などを解説、正信偈の偈文や高僧和讃などを引用されるなかでわかりやすく曇鸞・道綽・善導三師の説かれた教えについてお話しされ、参加者は熱心に耳を傾けていた。

今後もこの「親鸞聖人を語る夕べ」では、伝統的な法座の形態にこだわらない新しい法座のあり方を模索して、社会にある様々なテーマも取り上げていきたいので、皆さまのご意見や感想をお寄せいただきたいと思います。

また、翌二十七日には、各組からの法中出勤のもと午前・午後と報恩講が、講社連盟の講員の方々など百六十名の方が参拝されるなか勤められ、立川証さん（川上組浄教寺）が「果に従い因に向かう」とのご講題で法話をされた。



◇二〇一八年度第二回 高岡教区  
寺院女性会連盟研修会(十二月四日)を終えて

人の致死率は百パーセント。

厚生連高岡病院救命救急センター  
―集中治療室勤務、講師の寺井  
彩さんの言葉です。些細なこと  
に一喜一憂しながら、命が永遠  
のように錯覚して日々を過ごし  
ていましたので、この言葉が胸  
に突き刺さりました。

五月に、教区寺院女性会連盟  
会長、清水道子さんを突然の体  
調変化が襲いました。彼岸の見  
え隠れするICU生活を経、看  
護師寺井さんに巡り会えた幸運を一因として、奇跡的な復活を遂  
げられました。阿弥陀様が安置され、CDの仏教賛歌が流れる病  
室。家族の写真。苦しみを緩和する環境作りを心がける、寺井さ  
んの配慮です。

清水さんが乗り越えられた、生と死の淵を行く辛く厳しい道の  
り。寺井さんが講演で提示された、命の終焉目前の四人のケー  
ス。延命について、本人の意思や家族の関わりの中で、どう考え  
たら良いのか迷いました。死は、間違いなく悲しいです。しか  
し、命の輝きが悲しみの向こうにあります。尊い命が、心安らか



に満ち足りて全うされる  
ために、人生の最期をど  
う迎えるかについてみん  
なで話し合い、お念仏を  
通して命の尊厳をしま  
りで見つめていきたいも  
のです。み仏の教えをい  
ただき、今生かされてい  
ることに感謝しながら。

合掌

高岡教区寺院女性会

小阪 友子

(氷見東組真常寺)

★「北海道胆振東部地震」災害義援金募金の現況報告と対応

現在、各ご寺院にご依頼しております「北海道胆振東部地震」災  
害義援金につきましては、九十二ヶ寺さまより、八十三万六百元  
(振込手数料を除く)の義援金を頂戴しております。ありがとうござい  
ます。本義援金は、本年中に北海道教区へお届けする予定です。



仏婦ダーナ  
募金のご報告

教区仏婦連盟では、  
今年のダーナ募金の  
集金を12月3日  
(月)に行い、  
509,175円もの  
ご寄付がありました。  
ありがとうございました。

ご協力くださった  
みなさまに重ねて厚  
く御礼申し上げます。  
合掌

## ◇御同朋の社会をめざす運動のコーナー

### 入管法改正法案に思う

先月、出入国管理及び難民認定法（入管法）改正法案が衆議院に於いて強行採決され、可決されました。外国人労働者拡大法案とも呼ばれるこの法案は、深刻な人手不足の解消のため外国人労働者の受け入れ拡大が目的とされています。

現在日本で働く単純労働に従事する多くの外国人労働者は「技能実習制度」によって来日し、労働に従事されていますが、今回の改正法案はこの技能実習制度枠の拡大と「一定の専門性と技能を有する即戦力となる外国人材」に新たな在留資格を設けることを骨子としています。しかし、この「技能実習制度」はかねてより人権侵害の温床となっており、とが指摘されています。本来は日本で技能を身に付け、母国の産業振興に生かしてもらうことを理念とした制度ですが、実際には「安価な労働力の確保」に利用され、研修であることを名目に最低賃金に満たない低賃金や、家賃や食費の名目で給料の大半を搾取される、権利主張に対する強制帰国、罰金や借金によって自由を奪う、保険に加入せず病院に行かせない、身体的暴力を伴う虐待、強制帰国を脅し文句に使って性行為を迫るような性暴力、などの深刻な人権侵害が報告されており、「奴隷的状态」と国際人権規約委員会からは正勧告がなされ、アメリカ国務省が『人身売買に関する年次報告書』にこの技能実習制度が悪用されている事例を取り上げるなど国際的にも非常に問題のある制度であるとの指摘がなされています。

この法案に対して、「七千人余りが実習先から逃亡・失踪している」との質問が出ると、担当大臣は「より高い給料を求めて」が失踪動機の八十七%であると回答しましたが、実際に技能実習生に聞き取りをおこなった聴取票では、多くが不当な低賃金と虐待が失踪の動機であったこ

とが判明しました。

このように多くの問題性が指摘されながらも法案の成立を急ぐ一方、難民の受け入れには非常に消極的で、それどころか難民としてやってきた人々に対する入国管理局による迫害・虐待が横行しているとの報道があります。難民申請中の男性を特に理由を示さず何ヶ月も拘束している例や、収容施設内で殴る蹴るなどの身体的暴力や家族と連絡を取らせないなどの精神的暴力、非常に質の悪い食事、病気になるっても治療を受けさせないなどの虐待を訴える声が報道され、入国管理局の収容所にいる間に死亡したり、自死するケースも相次いで報告されています。一体この国では何が起きているのでしょうか？

労働力としての利用価値で人間の価値を判断し、それらの人々がどんなに非人道的な扱いを受けていても無関心、もしくはそれで自分たちの利益が得られるならそれでよし、としているようにも見受けられます。法蔵菩薩の四十八願には「もしこのように苦しむ人々が放置されているのが仏の世界だというのなら、私はそんな悟りはいらぬ」というこれ以上ない強い否定を以って法蔵菩薩の決意が表されています。第三願の「悉皆金色の願」は肌の色・人種で不利益を受けることのない世界を、第三十八願「衣服随念の願」には低賃金・重労働の典型である洗濯に従事するカーストの存在が念頭にある願とも言われますが、そのように苦しむ人々がいない世界を願ったこれらの願文は何を私たちに問いかけているのでしょうか。教えをいただく時、そうではない私たちの姿、現実社会の姿という矛盾に突き当たります。

私たちの周囲にも外国人労働者の方々は大量おられますが、残念ながらそれらの人々に対し、悪意ある風聞や不信の目が向けられることは珍しくありません。

如來の願いに問われているのはこの私たちなのです。

【高岡教区教務所 岡西好持】

◇これからの日程（12/21～1/19）◇

12月	教区・財団行事	教化団体・組行事
21	教学研究室	同朋委員会
22		仏の子どものつどい
26		長寿苑ビハーラ活動
28	午後から事務休業 (～9日)	
	<b>12月28日の午後より、1月7日まで、教務所事務休業いたします。</b>	
1月		
8	教務所事務開始	コーラス(昼)
10	教区常任委員会	
14	常例法座	
	<b>1月14日～16日まで、親鸞聖人御正忌報恩講のため教務所事務休業いたします。(常例法座はございません)</b>	
18	教区新年会	仏婦教材委員会
21		仏婦執行部会
25	聖典セミナー(第10回)	

☆お知らせ☆

『法輪せんべい』販売について

お茶菓子やご法事・ご法座の折のお扱いにいかがでしょうか。お申し込み先は下記のとおり。

FAX. でのお申し込みも承ります。どうぞご利用下さい。  
一袋二枚入りで価格は次の通り

・特大箱(170袋) **8,300円**

・1組(10袋) **500円**

お申込み先は…高岡市東上関446 高岡教務所内  
(寺族青年会担当)  
Tel.(050)5587-7708(代表)  
メール hourin18@gmail.com

ラジオ放送～西本願寺の時間～

『みほとけとともに』

北日本放送(KNB)・73.8kHz.  
◎毎週土曜日(本山制作) 午前6:15～6:25  
□第2・4日曜日(富山・高岡制作) 午前6:00～6:10

◎12/22(土):加藤 龍行氏

(本願寺派布教使・大阪府明光寺住職)

「欲を少なくして足るを知る」

□12/23(日):林 要昭氏

(高岡教区砺波組明覚寺)

◎12/29(土):徂徠 真弓氏

(奈良県西光寺坊守)

「2018年を振り返って」

◎1/5(土):大谷 光淳ご門主

(浄土真宗本願寺派門主・本願寺住職)

「年頭の挨拶」

◎1/12(土):満井 秀城氏

(浄土真宗本願寺派総合研究所副所長)

「未定」

□1/13(日):未定

(富山教区)

◎1/19(土):満井 秀城氏

(浄土真宗本願寺派総合研究所副所長)

「未定」

【西本願寺高岡会館1月の常例法座】

ご講師: **鷺 森 昭 見 氏**

(高岡教区氷見西組浄善寺)

ご講題: 「 **未 定** 」

午後1時20分頃からビデオ上映、2時からお正信偈六首引のお勤めです。どうぞお誘いあわせてお参りください。